

審査・表彰

(1) 審査日程・審査方法

12月に審査会(岡山市協働推進委員会)で審査し決定します。
※審査会で応募団体にヒアリングをさせていただくことがあります。
※インターネットでの投票を行います。その結果も審査の参考とします。

(2) 表彰・副賞

- ① 協働のまちづくり大賞 賞金10万円と表彰状
協働のまちづくり賞 賞金 5万円と表彰状

- ② 入賞された取組は、令和2年度内に5分程度の動画を作成し、DVDを贈呈します。
また、岡山市の市民協働推進ポータルサイト「つながる協働ひろば」に掲載します。

(3) 表彰式・活動発表等

入賞された取組については、表彰式を行うとともに、
令和2年2月に開催予定の「市民協働フォーラム」で活動報告をしていただきます。
また、応募されたすべての取組について、「協働のまちづくり展」等で活動パネルの展示をします。



応募方法

所定の応募用紙に記入し、取組内容を補足する資料等を添えて、送付(電子メール可)または持参してください。(提出書類は原則公開となります。また提出書類は返却しません。)
応募用紙は「おかやまNPO・ボランティアサイトつながる協働ひろば」でダウンロードできます。 <http://www.okayama-tbox.jp/kyoudou/>



応募締切 令和元年10月11日(金)

応募先・
問合せ先

岡山市市民協働企画総務課市民活動支援室
住所 〒700-8544 岡山市北区大供一丁目1番1号
電話 086-803-1061 E-mail kyoudou@city.okayama.lg.jp
※電子メールで送付の場合、3日以内に返信がない場合は、念のためお電話でご確認下さい。

協賛のお願い

表彰状、副賞のほか、記念品を応募団体に贈りたいと考えています。
多様な主体と一緒に活動し、市民の「すべての人に健康と優しさを」
つながる取組を応援していただける企業、団体を募集しています。

問合せ先:岡山市市民協働企画総務課市民活動支援室
電話 086-803-1061 E-mail kyoudou@city.okayama.lg.jp

募集期間 令和元年10月11日(金)まで



SDGs:2030年の世界に向けた
国連で採択された17の目標



応募締切
令和元年10月11日(金)

SDGs Goal

募集テーマ



すべての人に
健康と優しさを

SDGs:2030年の世界に向けた国連で採択された17の目標

第4回「おかやま協働のまちづくり賞」 募集要項



去年の
表彰式の
様子

「おかやま協働のまちづくり賞」 とは？

「岡山市協働のまちづくり条例」に基づき、豊かで活力ある持続可能な地域社会の実現のため、住民自治組織・NPO・企業・学校・行政など、多様な主体の協働による、優れた地域の社会課題解決の取組を表彰し応援します。

これまでのテーマと大賞受賞取組

第1回テーマ「笑顔と場づくり」
「病気の子もたちが
安心できる居場所づくり」
代表団体：認定NPO法人ポケットサポート



第2回テーマ
「楽しんで年を重ねられる社会のために」
「会陽の里安全パトロール隊」
代表団体：養護老人ホーム岡山市会陽の里

第3回テーマ「やりがいと豊かな暮らし」
「西日本豪雨災害支援ボランティア
『自由あそびのひろば』」
代表団体：助け合うお母さんの会



SDGs 3

3 すべての人に
健康と福祉を



令和元年度テーマ

すべての人に健康と優しさを

「健康で自分らしい生き方をしたい」市民だれもの願いです。

町内会などの住民自治組織・NPO・企業・学校・行政など多様な主体と一緒に活動し、子どもたちの健やかな成長を支える取組、健康寿命の延伸のために生活習慣を改善する取組、年齢や障がいの有無にかかわらず自分らしい生活を送れるように地域で支え合う取組などを募集します。

みなさんの地域で、
子どもの生活を整える食育の実践
働く世代の健康促進のためのウォーキング大会
高齢者の生きがいを支えるサロンの取組 など、
子どもからお年寄りまで健康で心豊かに生活できる地域社会を実現するために協働で取り組んでいる活動はありませんか。

活動の対象や分野は問いません。
「すべての人に健康と優しさを」届ける、
多くの取組のご応募をお待ちしています。



募集テーマとSDGs



SDGsとは「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略称で、2015年9月の国連サミットにおいて、全会一致で採択された2030年を期限とする世界共通の17の目標です。誰一人取り残さない社会の実現を目指し、経済・社会・環境をめぐる広範な課題に総合的に取り組めます。岡山市ではSDGsの実現に向けた取組を全庁を挙げて推進しており、持続可能な地域社会の実現をめざすための協働の取組もSDGsの理念に沿っていると考え、テーマに取り入れています。

対象となる取組

- ① 取組の目的や内容が、本年度のテーマに沿ったものであること。
- ② 岡山市の社会課題解決のための取組であること。
※宗教、政治又は営利を主たる目的とする活動及び、暴力団又は暴力団員の統制の下にある活動は対象としません。
- ③ 2団体以上の多様な主体の協働で取り組まれていること。
※「団体」とは概ね10人以上で構成されているものをいいます。「団体」には行政機関も含まれます。協働団体のうち1者は岡山市内に所在する団体であることが必要です。
- ④ 原則として岡山市内で実施される取組であること。
※ただし、実施場所が市外であっても、岡山市の社会課題解決につながる事が明らかな場合は対象となります。

審査基準

- ① **テーマとの整合性**
募集テーマに沿った取組であり、そのテーマがどれだけ取組の中で実現されているか。
- ② **成果の妥当性（解決をめざした取組の成果）**
解決しようとしている社会課題が明確であり、取組によりどれだけ課題の解決が進んだか、または、今後の成果が期待できるか。
- ③ **協働力（協働の原則〔岡山市協働のまちづくり条例第4条〕に照らした協働の成果）**
協働している団体の特性が発揮され、役割分担を明確にして、共有する目的のために活動しているか。
※住民自治組織・NPO・企業・学校・行政など、協働団体が多分野にわたっていることや、各団体の関わり方の深さも評価の対象となります。
- ④ **公益性・公共性**
市民ニーズが高く、社会課題解決により公共の利益につながるか。
- ⑤ **地域への貢献度**
地域資源や人的資源の活用などの工夫がみられる、または社会課題解決が豊かで活力ある地域社会づくりにつながる取組であるか。
- ⑥ **継続性**
一過性のものでなく、将来に向けた継続性があるか。
※その取組が終了していても、課題の解決が図られるなど、目的を達成した取組の場合は、成果や効果等の継続性があるものとします。
- ⑦ **先駆性・独創性**
先駆的な取組、または特色ある取組であるか。

詳しくは
「つながる協働ひろば」
から確認できるよ！

